

12月の 園便い

「あした
とむだろ」

2020・新潟青陵幼稚園 加藤由美子



降園後、園庭で砂遊びを始めた太郎と次郎君、私は次郎君のお母さんと立ち話をしていたのですが、ふと気づくと太郎が、赤ばらの女の子の頭を、おもちゃのロケットで叩いています。女の子は、突然のことで何が何だか分からず茫然としていました、私は、これはいけないと太郎のところへ行き、「太郎、どーしたの!？」と聞きましたが、走って逃げていきました。そして、今度は赤ばらのケンちゃんと言い争いをしています。太郎の方が一方的に言っているように見えました。慌ててそばに行くと

太郎「オレなんか、白ばらだぞ!お前より、一つ年下なんだぞ」とまくしたてています。するとケンちゃんが一言「シャツ出てるよ〜」

太郎は自分のシャツに目を落とし、母は心の中で大笑い(ケンちゃん一本!!)

その後二人は離れましたが、こういった太郎の姿に不安を覚えました。普段も赤ばらさんにいばり散らしているのかなと・・・ひょっとしたら一年前の太郎も、同じように言い任せたりやられたりしたのかもしれませんが、それを他の人にやり返すなんてダメだと注意しましたが、3歩あるけば忘れる子ですから同じことを繰り返しそうで心配です。

20年ほど前の出来事です。そうなんです、今の青ばらさんは、小さい子にとっても優しく思いやりを持って接しています。(時と場合にもよりますが(苦笑))こういう循環ができるまでに、10年ほどはかかったのでしょうか。20年ほど前は「青ばらに威張る気か!」という言葉も聞こえていて、これは何とかしなければと保育者で話し合いを重ねたものでした。「あなたたちも赤ばらさんだったときは、こうだったんだよ」と言い、「赤ばらさんに困った時は、先生に教えてね、あなたたちを助けるから…」と保育者は言ってきました、赤ばらさんは、周りの状況が良く理解できなかったり、自分の思いだけで行動するので、他の子どもたちにとっては「勝手に取っていった」「遊びを壊した」と思える状況が起こるのですが、でも、今は「なんか言うとき、赤ばらさん泣くから」と困っていたり、あっけにと取られて棒立ちになっていたりする青・白ばらさんの姿があります。大きい子は小さい子を守らなければならないということが子どもたちに伝わっていて、それがまた進級した青ばらさんや白ばらさんにしっかりと伝えられていきます。よい循環は大人が作っていかなければならないことです。年上の子にやられてくれば同じようにやる、これは当然なことです、お母さんが「やり返すのはだめ」と言っても難しいことです、だって子どもは真似をして育つものですから…それにしても「お前より一つ年下なんだ」と間違えて威張ったり、シャツが出ていると赤ばらさんに指摘されて、自分のシャツに目を落としているところなど、何とも面白くて笑ってしまいます。3歩あるけば忘れるって、子どもにはよくあることですね。

12月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	○	2:30		
2	水	○	2:30		
3	木	○	2:30		
4	金	○	2:30		
5	土			みその上映会	OBみその会 お父さんの会木工制作
6	日	/	/		
7	月	○	2:30		
8	火	○	2:30		
9	水	×	11:30	誕生会です、12月生まれの保護者の方、	ご一緒にお祝いしましょう
10	木	○	2:30		
11	金	○	2:30		
12	土				
13	日	/	/		
14	月	○	2:30		
15	火	○	2:30		
16	水	○	2:30		
17	木	○	2:30		
18	金	×	11:30	個人懇談会です。詳細はクラスからのお便りをご覧ください	
19	土				
20	日	/	/		
21	月	×	11:30	個人懇談会です。	
22	火	×	11:30	個人懇談会です。	
23	水	×	11:30	第2学期終業式です。	
24	木	/	/	本日より冬休みです。	星の子は行います。
25	金	/	/		〃
26	土	/	/		〃
27	日	/	/		
28	月	/	/		〃
29	火	/	/	冬季休業	
30	水	/	/	〃	
31	木	/	/	〃	